出雲地区納税貯蓄組合連合会会長賞

「くらしを支える税の力」

出雲市立平田中学校　三年　渡辺　結希

僕は小学校で「税金」という　がなく、小学校、中学校の学費　が毎日通行している道路や、
言葉にふれ、その頃は税に対　を自分たちの家で負担しなく　信号などの修理も税金でまか
して、難しいイメージを持っ　てはなりません。なので、学校　なわれています。これを聞く
ていました。そうして税とは　に通えるのは当たり前ではな　と税金は大切で、面倒臭く思
いったい何なのか疑問に思い　く、国によっては、学校に通え　うのではなく、国・自分のため
ました。身近に知っているの　ず、働かされている子供たち　に支払うのだと考えました。
は、お買い物で商品を購入す　もいるので、感謝するべきだ　税金の使われ方を知って初
る際にも税金が関わることで　と思いました。また、僕たちが　めて大切さに気付き、税金を
す。百円の商品が税込みだと、　納めた税金は公共サービスに　納める意味が分かります。税
百十円になるなど、僕たちは　もなっています。例えば公共　金が正しく使われているのか
消費税を支払っています。約　事業、福祉、医療や年金などに　を知ることで、損や得だとい
三年前、消費税が八％から　活用されます。警察官や消防　う感情が減っていくと思いま
十％に上がり、お金を多くと　署員などの公務員の方は、み　す。
られるようになって自分も嫌　んなの生活や安全を守るため
だなと感じました。その時は、　の費用を税金として収入を得　僕たち消費者が負担した消
マイナスなイメージを持って　られています。僕は最初それ　費税は、工場やお店が税務署
いて、税金の大切さをまだ知　を知った時、そのようなとこ　に納めてくれます。それに、会
っていませんでした。税金が　ろにも税金が使われるのだと　社等に勤めている人の給料の
なければ、今の時代には義務　驚きました。それに、自分たち　中から所得税、県民税、市民税

でも、その税がみんなを支え　国民の一人として、税金につ
てくれるものだと考えれば、　いて詳しく知り、これから先
納めることに間違えはなく、　の未来のことに興味を持って
損することはないと思います。　過ごしていきたいです。
もし税金のない世の中がある
とすれば、日本の終わりとい
っても過言でないほどの危機
だと思います。

僕たち人間は、生きていく
ために、死ぬまで税と付き合
っていかなければなりません。
なので、僕はせめて税金をマ
イナスではなく、プラスのイ
メージで見ていきたいです。
ほかにも、ニュースで政治の
ことや、税の動きなどにも目
を向けていきたいです。僕も